

市長とランチミーティング⑨

ビーチクリーン活動 気持ちいい島、喜ばれる島へ

第9回「市長とランチミーティング」は3月14日(月)に「海・Loveネットワーク」の皆さんと行われました。そのミーティング内容を紹介します。

中山市長 今日海・Loveフェスタで頑張られた皆さんに来ていただいています。永遠に続きそうな漂着ゴミ等の問題がありますけれども、これを大きな動きにしていきたいにも地元でしっかりと活動している皆さん方の力を、知恵も貸していただけたらと思います。また、不法投棄の部分。これは島民、市民が捨てている部分がありますので、大きな課題として行政でしっかりと取り組まないといけないと痛切に感じています。現場で活動されている皆さん方の意見を聴かせていただくことによって次の新しい政策が打てればと思っています。よろしく願います。

ビーチクリーン活動は

中川委員長 海・Loveネットワークは石垣ビーチクリーンクラブ(IBC)というサーファーの女性達を中心にした人



達が海岸の清掃活動を通して、いろんな方達がビーチクリーンをされている現状から「その活動をされている方々との横のつながりがあるといいね」「よりビーチクリーンを広げるための活動があるといいね」という素朴

なところから、この清掃活動をもっと広げるための活動をやっていこうと呼びかけて始まりました。主な活動は清掃活動はもちろん、いろんな清掃活動をされている方達の支援、いろんなツールを使ってビーチクリーンアップを広げていこうということとです。また、不法投棄の問題等、皆さんに現状を知っていたいて考えてもらい意識を変えていただくきっかけも含めて活動しています。

岡本さん 私達NPO法人コーラル沖縄八重山支部は去年の9月から毎週日曜日、大浜海岸の南の方から区間を区切って北に向かってビーチクリーンをしています。1時間の活動ですが、少人数で気軽にできる活動をめざして20区間終了しました。3年かけて石垣島を一周しようと思っています。できれば、清掃区間をいろんな団体に分け、自分のビーチのように毎週、毎月1回でも清掃していただけるように石垣市から認定していただければと思います。

榎山さん IBCは石垣波乗りレディース会といってサーフィンをしている女子を中心に2003

年からビーチクリーンの活動を始めました。2007年に石垣ビーチクリーンクラブというクラブを設立し、約40人で夏場を除いて年間4、5回活動しています。

自分でやってみる?

ビーチクリーン

中川委員長 ビーチクリーンってゴミを拾って集めてOKではないんですね。家庭ゴミと違って回収してもらえないこともあるので、そのへんをわかりやすくして、意欲のある方々を掘り起こすためにも「自分でやってみる?ビーチクリーン」といったチラシを作りました。市の環境課等、いろんなところに置いてビーチクリーンをやってみたいという方達に役立てていただきたいと思っています。How toビーチクリーンとか分別が家庭のゴミと若干違うので、一覧表にした資料を作っている最中です。市、地域、団体の方に協力していただいて知ったらやれると思います。このような試みをしています。

なくそう不法投棄

浅井さん 不法投棄の現状について私達が見てきた中で説明いたします。大崎海岸の駐車場は釣り人や海水浴の人によるビールやジュース等の缶に家電や自転車、家庭ゴミが袋ごと捨てら

市長とランチミーティング

れています。沖電球場の裏の海岸入口は、ゴミがゴミを呼んでいる状況でゴミ捨て場化しています。白保の轟川河口の海岸に入る道は農業用の飼料袋が多く、白保のゴミ捨て場かと思われる状況です。八島町は大量の弁当箱や飲み物が袋のまま、建築資材もあります。真栄里は排水溝から2、520本のたばこのフィルターを拾いました。

漂着ゴミは中国や台湾からで被害者意識を感じるけれども、実は不法投棄ゴミもたくさんあり、問題だと感じております。

ボランティア清掃が盛んになり漂着ゴミを拾う人が増えていますが、不法投棄ゴミを片づける人はいません。片づけても気分が悪いですし、これを処理する税金も無駄使いになると思いますので石垣市全体で不法投棄をなくす取り組みが必要だと思っています。

中山市長 皆さんの資金はどうしていますか。

クラブ員 完全なボランティアです。美ら海・美ら山募金の助成金や個人的に支援されている方達から寄附していただいているところもあります。事務も含めて個人個人の全ての方達のボランティアの力ですね。

中山市長 行政の方で集めた後のゴミの回収はどうしていますか。

登野城生活環境課長 漂着ゴミ、海岸ゴミ、ボランティアの皆さんは結構、活動されています。生活環境課で回収し、でき

るものは市の処分場で処分し、漁具等、処理困難物は産業廃棄物ということ、ある程度は市の予算で処分しています。生活環境課でバックアップできるのは、これぐらいのところですね。

中山市長 一番の問題は不法投棄の部分だと思っています。なくそうと思えば、なくせると思います。

クラブ員 そうですね。みんなが意識を変えて、なくそうと思えば、なくせます。

中山市長 漂着ゴミはいろいろ問題があると思いますが、不法投棄は同じ人が何回も捨てているのではないだろうか。

クラブ員 捨てにくくなるような環境にするためにも常に海岸がきれいであるとゴミは捨てにくくなるんですね。ゴミが溜まっているとゴミがゴミを呼んで、不法投棄をしているところがあれば、そこをきれいにしていく必要があると思います。一回逮捕者が出ると自分のことについて身につまされて考えていくことがあるかと思っています。

登野城生活環境課長 平成22年度からグリーンニューデール基金という基金を活用し、不法投棄監視パトロール員を4名雇い、毎日島内をパトロールしています。今年からは早朝、夜間もパトロールしていますが、現行犯はなかなか出てこないですね。島内の海岸や山中、林道などに24力所の不法投棄箇所を見

つけてあります。そこを重点監視区域と定めて監視しています。監視パトロールをすることです。抑止力があるということ、生活環境課のねらいです。平成23年度も引き続き実施する予定です。

クラブ員 24力所って結構多いですね。いろいろなところに立て看板が設置されていると、どういう島なんだろうと思ってしまうですね。

登野城生活環境課長 「不法投棄は3,000万円の罰金に処せられます」という看板を立てるんですが、立てた看板のそばから捨てられている現状で、いちごっこですね。

中山市長 テレビを不法投棄した人を見つけたら、他に捨てられているテレビを10台見つけるまで許さないとかですね。こういう罰則を設けるとか。

クラブ員 ハワイですと、罰金が払えない場合、罰として罪を犯したことがわかる服を着せられ、みんなの目に見える前で奉仕活動をさせられます。そのようなことを石垣市だけでも取り組んでもいいのではないかと思います。

きれいな島に！
もっと活動を広げたい！

中川委員長 沖縄県内で石垣市はビーチクリーンをしているボランティア団体がこれだけ広がっているということ、すごく

評価されています。他の市町村のモデル地域となりつつあります。生活環境課には協力してくださるうれしいです。私達の作ったチラシは沖縄県の海岸漂着物対策協議会の教材として使われるようになりました。

中山市長 すごいですね。

クラブ員 私達としては、みんなの手をつないでかたちで、きれいな島、自分達が暮らして喜んでいるだけのような島であり続けたいし、後生の子ども達に残していきたいので、行政機関、民間や団体の方々と一緒に連携していこうということ、協力していただくとうれしいです。

黒島さん 内地から来た方がビーチクリーンに関係している方が多いので島の人間との交流が必要だと思っています。行政として大きな活動やフェスタの際に市として取り組んでいきましようという姿勢が表にあらわれてくると市民も参加しやすいのではないかと思います。

中山市長 今日はビーチクリーンの現状を聴かせていただいたので、勉強になりました。今後の政策の中に活かしていこうと思っています。もう一つは不法投棄。これをなくせば、島はだいぶきれいになると思います。ビーチクリーンは島の人間、地元出身の人達にも広げるような活動を考えていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。